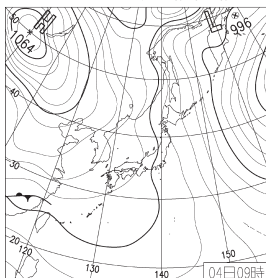


日々の天気図

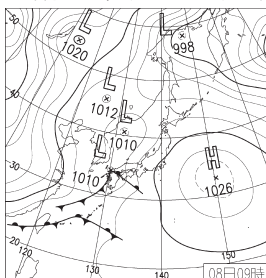
— No. 192

2018年1月

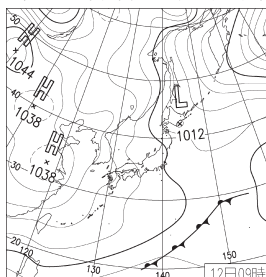
- ・11~12日,新潟で8年ぶりに積雪80cm,大雪で列車長時間立ち往生。
- ・22~23日,東・北日本太平洋側で大雪,交通障害,停電,ビニールハウス倒壊等発生,負傷者多数。
- ・24~30日,寒気強く低温,さいたまー9.8℃など観測史上1位も,各地で水道管凍結・断水発生相次ぐ。(気象庁予報部予報課)



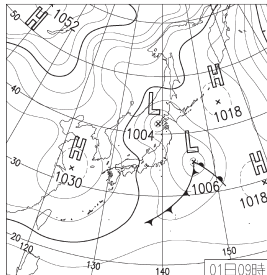
4日(木)全国最早のウメ開花
那覇・松山・松江市で,冬型の気圧配置は西から緩むが上空約1500mで-9℃以下の寒気が東日本に流入,日本海側中心に雪,夜は前線が華南から沖縄にのび,九州にかけて所々雨。



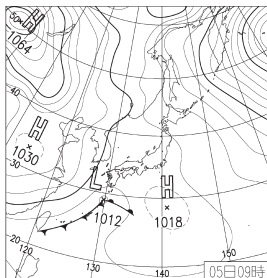
8日(月)全国的に天気は下り坂
低気圧が前線を伴い日本海と南西諸島~日本の南を進む。沖縄~東北は雨,四国~関東南岸で日降水量100mm超,沖縄県北大東で最大風速18m/sほか四国・北陸で1月1位の風。



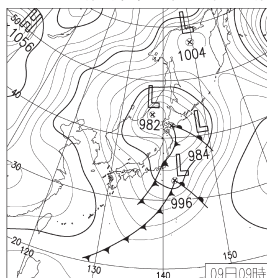
12日(金)厳しい冷え込み
最低気温山形県東根-15℃,埼玉県寄居-8.5℃は史上最低,1月1位の所も,全国の9割以上の地点で冬日,北陸中心に大雪で新潟県能生で史上1位の日降雪量102cm,高松市でウメ開花。



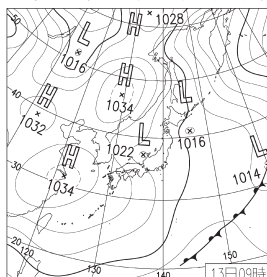
1日(月)穏やかな新年
冬型の気圧配置となったが北日本は寒さおろそがり3月並の気温,山陰~東北日本海側,北海道は雨や雪,上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり雷も,北海道広尾で日降雪量40cm。



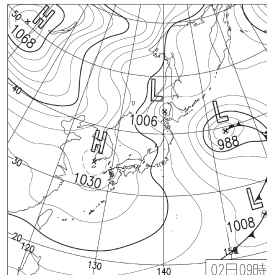
5日(金)西~東日本 寒い1日
冬型の気圧配置が緩んだ北日本では日本海側の降雪弱まる,南海上を低気圧が東進,西~東日本の太平洋側は雨で気温上がらず内陸や標高の高い所では雪,熊本県金峰山で初冠雪。



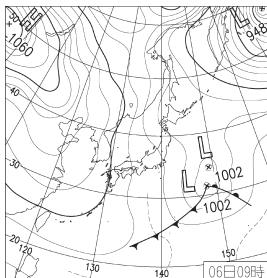
9日(火)東・北日本 春並の気温
北日本で低気圧急発達,北陸・北日本は雨や雪,西・東日本太平洋側も朝まで雨,暖気入り東・北日本は最低・最高気温3~4月並,最大瞬間風速石川県羽咋30.7m/sなど各地1月1位の風。



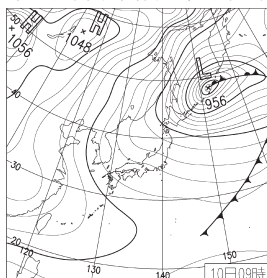
13日(土)寒いセンター試験初日
強い冬型の気圧配置が続く,上空約5500mで-36℃の寒気が北陸まで南下,北陸中心に大雪,山沿いで降雪40cm前後,福井で積雪77cm,最低気温富山県朝日-8.1℃は史上1位。



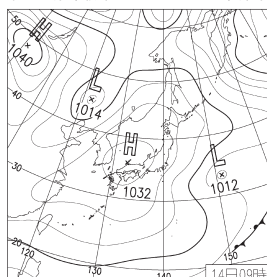
2日(火)北海道は寒さ緩む
最低気温は北海道では昨年より6℃以上高く4月並の所も,日中は上空約5000mで-36℃以下の寒気が北日本に流入,東~北日本の山地を中心に雪,山形県肘折の最深積雪224cm。



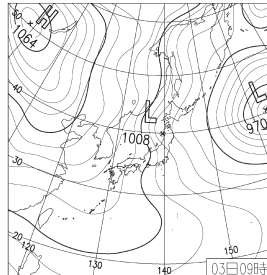
6日(土)冬型の気圧配置
東京で最低気温-1.4℃など東日本は放射冷却により各地で強い冷え込み,北日本は最低気温が3月並と冷え込み弱く,本州日本海側では雨から次第に雪に,東京都・神奈川県で震度4。



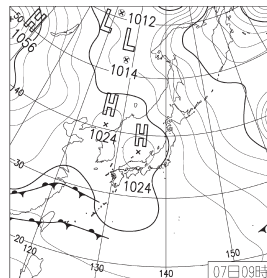
10日(水)強い冬型の気圧配置
強い寒気の南下で日本海側各地で大雪,雷も,西日本の山地でも日降雪量60cm前後,北日本中心に1月1位の風を記録,鹿児島・宮崎で初雪,桜島初冠雪,那覇市でヒカンザクラ開花。



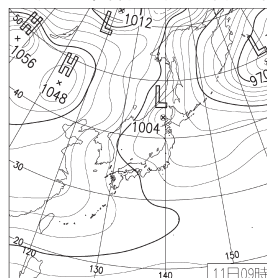
14日(日)北日本内陸冷え込む
冬型の気圧配置は一段落,日本付近は高気圧に覆われる,北海道歌登で最低気温-28.6℃,大雪は峠を越え山陰に残るが次第に晴れ,北海道で震度4。



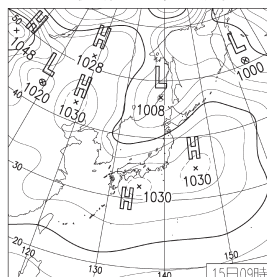
3日(水)台風第1号発生
冬型の気圧配置が強まり西~東日本の日本海側と北日本は曇りや雪または雨,東北日本海側は大荒れ,山形県飛鳥で最大瞬間風速34m/s,日降雪量は群馬県藤原80cm,大阪で初雪。



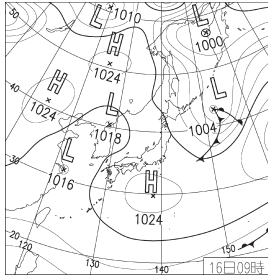
7日(日)全国最早のサクランボ開花
南大東村でヒカンザクラ開花,東~北日本太平洋側は高気圧に覆われて日中は概ね晴れ,西日本は次第に曇り,夜には前線を伴った低気圧が東シナ海に進み,沖縄~九州・四国は雨。



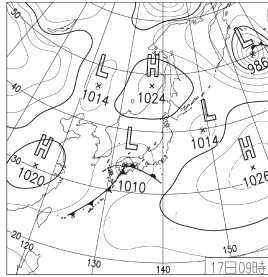
11日(木)北陸で大雪
新潟県津川で史上1位の日降雪量84cmなど,北陸を中心に大雪,強い寒気が流入した西日本でも冷え込みが強く,徳島で3cmなど太平洋側の平地でも積雪,石川県で突風。



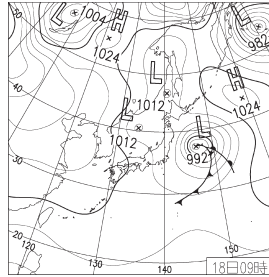
15日(月)日中は春の気温
沖縄~東日本は高気圧に覆われ概ね晴れ,北日本は気圧の谷通過し雨や雪,最高気温は各地昨年より高く3月~4月上旬並,福島県桧原の最低気温-21.7℃は1月1位,石垣市でウメ開花。



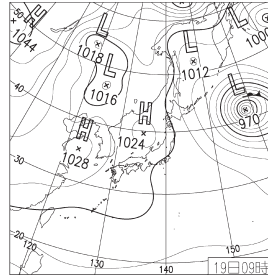
16日(火)気温上昇 西から雨
 南から暖かい空気が入り最低気温が
 平年並の西～東日本でも最高気温は
 3～4月並、平年差+10℃以上の所
 も。前線を伴った低気圧接近により西
 日本では次第に雨、銚子市でウメ開花。



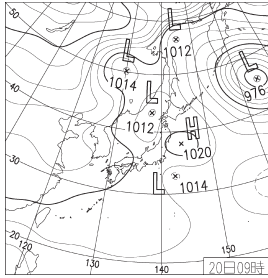
17日(水)全国的に暖かい朝
 朝の最低気温は平年より10℃以上高
 く西・東日本では5月並の所も。低気
 圧は夜には関東沿岸へ、静岡県では
 激しい雨、日降水量は富士112mm
 で、西・東日本では1月1位の所も。



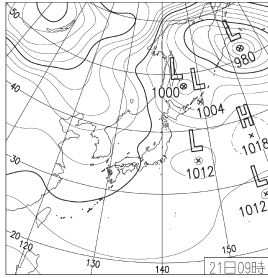
18日(木)引き続き全国的に高温
 低気圧が北日本を東進し、北陸～北日
 本は曇りや雨または雪、奄美と西～
 東日本の太平洋側は高気圧に覆われ
 概ね晴れ、その他は曇りや雨、最低
 最高気温が全国の所々で4月並。



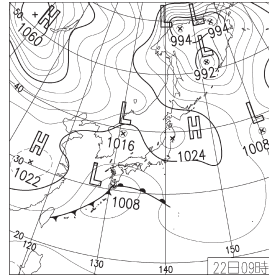
19日(金)石垣市ヒカンザクラ開花
 大陸の高気圧が本州付近に張り出
 す。西～東日本は晴れや曇り、沖縄・
 奄美は曇りや雨、北日本は寒気の影響
 で日本海側では曇りや雪だが太平洋
 側では晴れ、静岡市・東京でウメ開花。



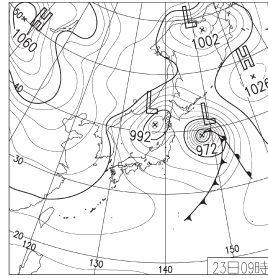
20日(土)暖か大寒
 山陰～北陸～北日本は曇りや雨また
 は雪、その他は高気圧に覆われ概ね
 晴れたが関東は気圧の谷の影響で曇
 り、最低気温は平年より高い所が多
 く最高気温も全国的に平年より高め。



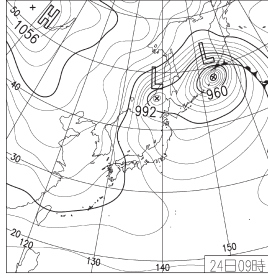
21日(日)西から天気下り坂
 北日本中心に冬型の気圧配置。北海
 道は局地的に風雪強まり最大瞬間風
 速えりも岬で32.3m/s、高気圧に覆
 われた西・東日本太平洋側も気圧の
 谷接近で次第に曇広がる。下関で初霜。



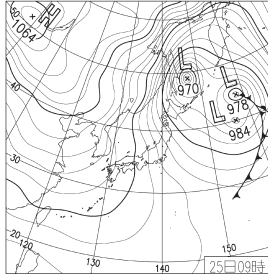
22日(月)東京で最深積雪23cm
 20cm超は2014年2月以来4年ぶり。
 低気圧が南岸を進み夜は伊豆諸島付
 近へ、北日本の一部を除き全国的に
 雨や雪、関東中心に大雪、甲府・横
 濱など初雪、奄美市でヒカンザクラ開花。



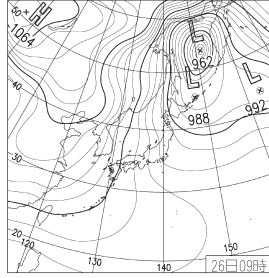
23日(火)本白根山で噴火
 草津白根山の本白根山で新たな複数
 の火口から噴火、日本海北部で低気
 圧急発達、西から冬型の気圧配置へ、
 日本海側で風雪強まり雷も。最大瞬間
 風速新潟県両津39m/sなど1月1位。



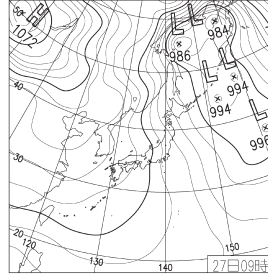
24日(水)冬型気圧配置強まる
 北陸～北日本の上空約5000mに-39
 ℃以下の寒気流入、日本海側は大雪
 ・大荒れ、西日本太平洋側や東海で
 も大雪、日降雪量は新潟県守門72
 cm、岩手・青森県・北海道で震度4。



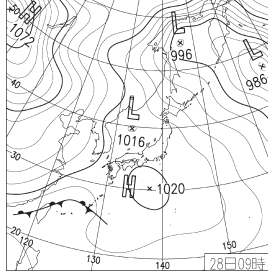
25日(木)強烈寒気 厳しい寒さ
 強い冬型の気圧配置続き、最低気温
 北海道喜茂別-31.3℃で1月1位、東
 京も-4℃と48年ぶりの低温、史上最
 低の所も、秋田県八森1月1位の最大瞬
 間風速30.5m/s、北日本はほぼ真冬日。



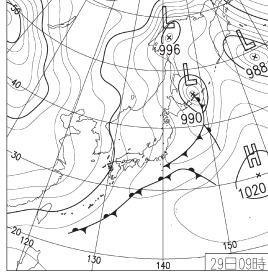
26日(金)厳しい寒さ続く
 東日本を中心に日中も強く冷え込み
 全国の約半数の地点で真冬日、秋田・
 青森県は全て、北日本はほとんどの観
 測点で真冬日、最低気温さいたま-9.8
 ℃、埼玉県越谷-7.5℃で史上1位。



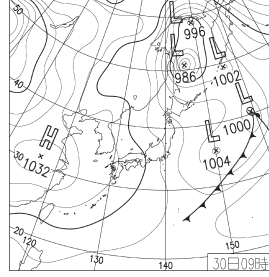
27日(土)最低気温の極値更新
 東京都青梅-9.3℃のほか伊豆諸島
 や宮崎県で史上最低、四国～東北で1
 月1位、沖縄・奄美を除きほぼ全国的
 に冬日、北海道芦別最深積雪110cmは
 1月1位、冬型気圧配置西から緩む。



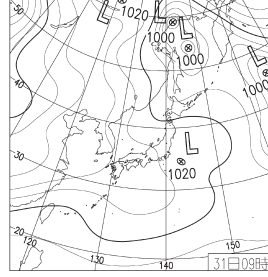
28日(日)網走で流水初日
 前線や低気圧および寒気の影響で沖
 縄・奄美と西日本は雨や雪、東～北日
 本は日本海側を中心に雪、高知の初
 雪は西～北日本で今冬最後、北海道
 駒で1月1位の最深積雪127cm。



29日(月)南大東村ヒカンザクラ満開
 全国最早の満開。はじめ北日本を低
 気圧が通過し北日本は雪、その後次第
 に冬型の気圧配置に。西～北日本の
 日本海側中心に雪や雨、沖縄・奄美
 も曇りや雨、東京は8日連続の冬日。



30日(火)全国的な寒さ続く
 西～北日本の日本海側で降雪続き新
 潟県は降雪量が急増、津南で日降雪
 量61cm、最低気温は北海道占冠
 で-30.9℃、全国的に最高気温は平
 年以下、那覇市でヒカンザクラ満開。

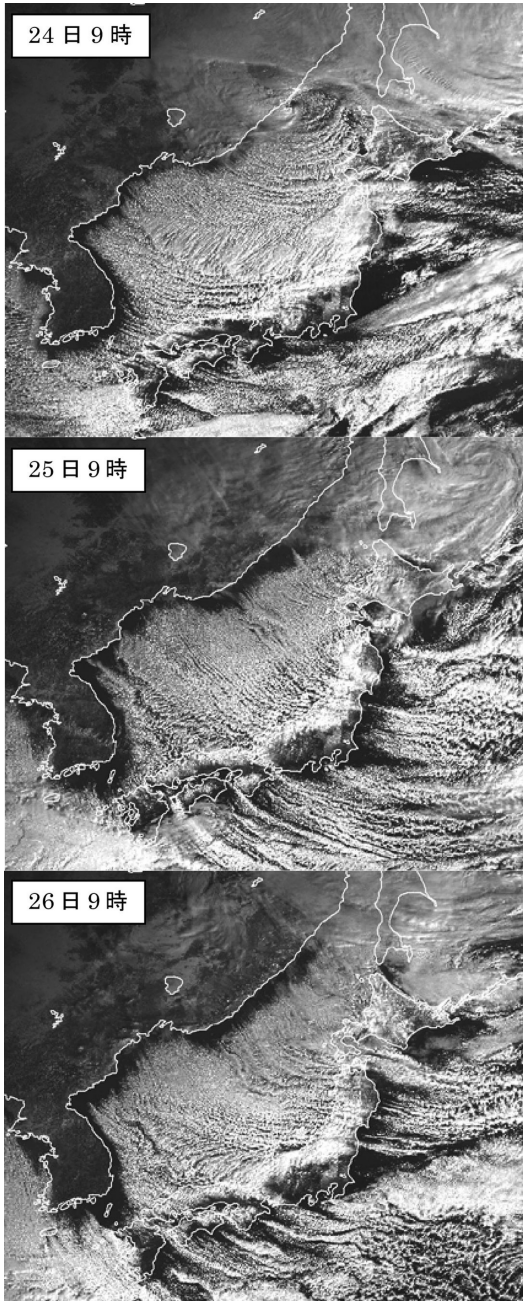


31日(水)沖縄近海で低気圧発生
 沖縄は先島諸島を中心に雨、石垣島53.5
 mm/1hの非常に激しい雨、福島県玉
 川で史上1位の最低気温-10.2℃、最
 深積雪北海道幌加内261cmなど1
 月1位、夜、皆既月食時間帯など晴れ。

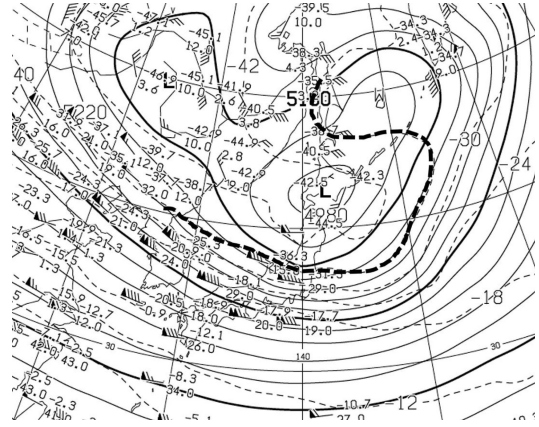


今月のひまわり画像—2018年1月

記録的な低温をもたらした寒波



第1図 2018年1月24～26日の09時（日本時間）の日本付近における可視画像。



第2図 24日21時の500 hPa 高層天気図（太い破線は -36°C の等温線を示す）。

2018年1月24～26日、日本付近は冬型の気圧配置となり、本州を中心に数年に一度あるかないかというレベルの強い寒気が流れ込んだ。第1図は、24～26日の09時（日本時間）の日本付近における可視画像である。日本海の筋状の雲は大陸沿岸付近まで明瞭に、かつ密に広がっている状況がよくわかる。一般に、寒気の強さの目安は日本海の筋状の雲の広がり方を見ればわかり、この数日間は非常に強い寒気の流入が継続していたことを示唆している。

24日は、北日本や北陸地方の500 hPaに -36°C 以下の寒気が流れ込んだ（第2図）。850 hPaでは、同日21時に輪島で -16.4°C が観測され、21時の観測値としては、統計開始（1957年）以降最も低い値となった。この強烈な寒気により、24～26日、東北・北陸地方を中心に各地で大雪や猛吹雪になった。

関東地方では25～27日の間、最低気温の極値更新が相次いだ。25日は東京都府中 -8.4°C 、26日は埼玉県さいたま -9.8°C 、同県越谷 -7.5°C 、27日は東京都青梅 -9.3°C となり、統計開始（1976年または1977年）以降、最も低い気温が観測された。25日朝は東京都心でも最低気温が -4.0°C まで下がり、1970年以来、48年ぶりの冷え込みとなった。東京都水道局には水道管凍結に関する問合せが26日までに3,000件以上に上ったという。

（気象庁予報部予報課 河野麻由可）